

## 名古屋市議会 2月定例会が閉会 (3月22日)

### 議長の辞任で議長・副議長選挙

# わしの恵子・田口一登候補が所信表明

#### 議長選挙の結果

○ふじた和秀(自)	48票
湯川栄光(減)	17票
わしの恵子(共)	5票
無効	4票

#### 副議長選挙の結果

○ばばのりこ(公)	69票
田口一登(共)	5票
(*欠員1)	

名古屋市議会 2月定例会は22日に予算や意見書などを議決したのち、議長選を行いました。

### 2年前のリコール選挙以来、3月に議長改選

現職の名古屋市議員は、2年前のリコール選挙で3月13日が任期です。常任委員会などの人事は従来通り予算議決後の5月臨時会で行いますが、議長選だけは3月に行います。

### 共産党と自公民、減税が候補

4時過ぎに予算等の議決を終了。休憩の後、午後7時前に再開。議員総会で、議長、副議長候補計5名の所信表明が行われたのち、本会議で選挙が行われました。日本共産党は議長候補にわしの恵子議員、副議長候補に田口一登議員が立ち、議会の民主的改革に挑む決意を述べました。結果は表のとおり。

#### 議長選挙にあたっての所信表明 わしの恵子



いま市民の暮らしは依然として厳しい状況の中、議会・議員は、市民の痛みに心を寄せることが求められています。また、議会・議員のあり方についてもきびしく問われています。

また、一昨年の出直し市議選によって発足した議会は、市民からの議会新生の願いに応えるために、議長・副議長の選出にあたっては、議会基本条例の精神にのっとり、市民に分かりやすいオープンなやり方に改められ、議長・副議長選挙にあたっての所信表明が行われるなど、まさに、議会改革を一步進めるものでした。

ところが、議員の相次ぐ不祥事が続き、議員・議会への市民の信頼は大きく失墜しました。私は、今回の議長立候補において、失われた議会への信頼を回復させるために力を注ぎます。議員としての議会活動が十分保障された、民主的で公平・公正な議会運営を一層進めていきます。

第1に、市民に開かれた分かりやすい市議会にするため、定例会ごとに市民の声を聞く議会報告会などの広報活動、シンポジウムやタウンミーティングなど市民の意見を幅広く聴く取り組みを進めるなど情報公開と市民参加の促進、市民の多様な意見を把握するなどさらなる議会制民主主義の発展に努めます。

議員平等の原則を踏まえ、本会議質問については会派別持ち時間制を廃止します。議会広報「市会だより」は紙面が充実してきましたが、発行回数など、さらなる充実を図ります。「議会基本条例」を活かし、さらなる改革を進める決意です。

第2に、議員は市民の痛みに応えるべきであり、議員報酬半減を継続します。改正された政務活動費の使用にあたっては、これまで以上に使途の適正化に努めるとともに、政務活動費の減額に取り組みます。また、議員一人当たり120万円が支給される慣例的な海外視察は廃止します。公正・清潔な名古屋市政を実現するため、政党支部を通じての企業・団体献金は自粛すべきと考えます。

以上の議会改革と議員の在り方についての提案をさせていただき、所信表明といたします。どうかよろしくお願ひします。

#### 副議長選挙にあたっての所信表明 田口一登



二元代表制のもとでの議会の果たす役割は、執行機関にたいする監視・評価という点からも、政策立案・政策提言という点からも、ますます大きくなっていると思います。

私は、議長を補佐して公正公平な議会運営に努めつつ、「日本一市民に開かれた議会」「市民のために働く議会」をめざし、議会基本条例にもとづく本市会の改革をさらに前進させてまいります。私が、皆様と協議しながら取り組みたいと考えている改革は、次の3点です。

第一は、市民参加の促進と情報公開を徹底することです。来場者アンケートでも好評を博した議会報告会については、定例会ごとに開催回数も増やして実施できるよう、市長にたいして予算措置を講じるよう強力に求めてまいります。また、必要に応じて市民公聴会を開催するなど、市民意見の反映に努めます。「市会だより」は紙面が充実してまいりましたが、発行回数の例月化とともに、さらなる内容の充実を図ります。

第二は、民主的な議会運営に努めることです。議会基本条例に明記された「議員平等の原則」にのっとり、本会議質問における会派別持ち時間制は廃止し、発言時間は平等にします。

第三は、議会経費について適正化と透明化を図ることです。任期中に1回の海外視察は中止することを提案します。議員が市政の重要課題の調査のために、海外に視察調査に出かける必要が生じる場合もあるでしょうが、その際には、政務活動費があるわけですから、それを視察旅費に充てればよいのであって、すべての議員が任期中に1回は海外に出かけることができるという慣例的な仕組みは改めるべきだと考えます。政務活動費については、いっそうの使途の透明化と適正化を図ります。

以上、私の所信の一端を述べさせていただきました。みなさまのご賛同を、どうかよろしくお願ひいたします。